

ぼうさいちしき 防災知識をチェックしよう

自然災害は、いつやってくるか分かりません。先生や家の人がいなくても、自分の命を守るため正しく行動するには、防災知識が必要です。この副読本で学習した内容をもう一度ふり返ってみましょう。

1 次の問題に答えられるか、問題文中の（ ）の中に入る言葉が分かるか、確認してみてください。もし、分からない場合は、関係のあるページをもう一度読むようにしましょう。

問	題	4年生	5年生	6年生
1	東日本大震災後、仙台市内に建てられた「プレハブ仮設住宅」は（ ）か所あった。(P12)			
2	大震災の直後にスタートした、仙台市内8万人の児童生徒による復興への取組を（ ）プロジェクトという。(P18～19)			
3	地震が発生するのは、（ ）がおし合い、絶えず動くからである。(P22)			
4	世界で起きる地震のおよそ（ ）が日本の近くで発生している。(P22)			
5	津波以外の自然災害には、台風、集中豪雨、雷、竜巻、（ ）などがある。(P24～25)			
6	火事が起きたときや雷が鳴ったとき、最初にどのような行動を取ればよいか？(P32～33)			
7	救急車を呼ぶときに通報する人が最初に伝えることは（ ）。(P35)			
8	家族防災会議で話し合っておくことはどんなことか？(P40～41)			

問	題	4年生	5年生	6年生
9	日本は（ ）という組織を作って被災国の救護活動を行っている。(P47)			
10	阪神・淡路大震災後、神戸の小学校と仙台の小学校でどんな交流が行われたか？(P56～57)			

2 自分の生活をふり返って、災害に備えて必要なことができているかどうかチェックしてみましょう。

チェック項目	4年生	5年生	6年生
1 情報を入手し、判断するときは、日頃から、情報の出所を確認し、冷静に判断するように心がけている。(P26)			
2 災害用伝言ダイヤル(171)と災害用伝言板の使い方を説明できる。(P27)			
3 日頃から地域を歩いて、避難場所や危険防止の手だてを取っているところをチェックしている。(P33)			
4 災害時に水道、電気、ガスのないくらしになった場合に生活上の工夫ができる。(P36～37)			
5 自分の家族が避難する場所を、家族みんなで確認している。(P40)			
6 家族防災会議を開き家庭のルールを決めたり、安全点検を行ったりしている。(P40～41)			
7 災害の後、心や体に変化があったときには、どのようにすればよいか分かる。(P42～43)			